

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名 ナノデス アクスウイング 5	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.460	△RG 0.0523	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール：アクスウイング 5

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番

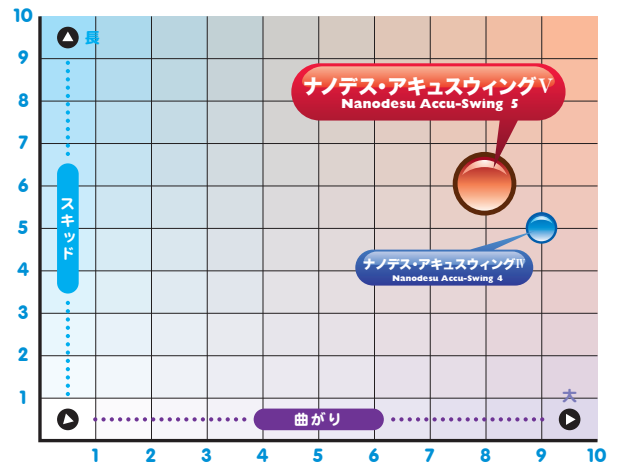
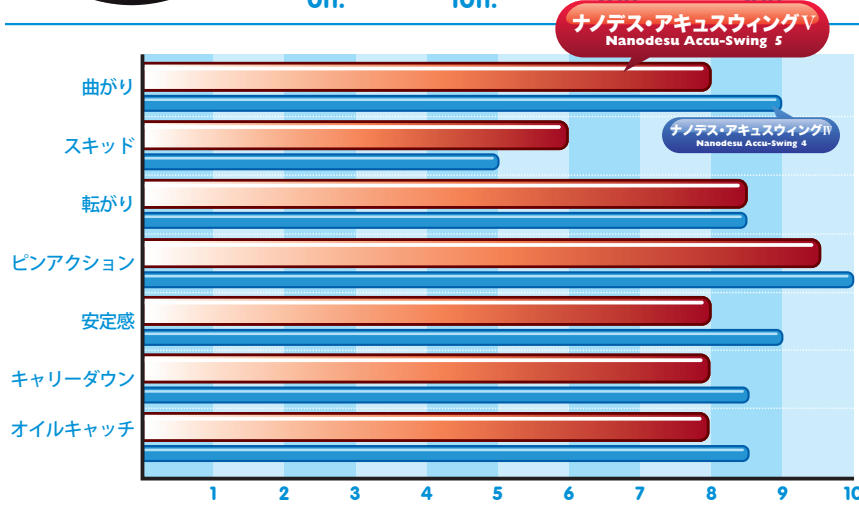
比較対照ボール：アクスウイング 4

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番



ボールの評価

NANOXYカバーは光っている状態であっても持続的なコンタクトを接地面に求め、バックエンドで急激なグリップが出せるのが特徴です。今回発売しますAccu-SWINGVはそのNANOXYカバーの良さを思う存分感じて頂くためのポリッシュ加工で、転がりからバックエンドリアクション、ピンアクションまでAccu-SWINGを継承するに相応しい性能に仕上げるためのコアも新たに作成しました。すべては「名に恥じぬ性能に仕上げる」信条がこのAccu-SWINGVに込められています。

投球したイメージは、前作のAccu-SWINGIVと比べると直進力が増したことで限定されたステージではなく、ミディアムコンディションを中心に対応できるコンディションが大幅に広がったと言えるでしょう。それでもオイルに対しての安定感をイメージさせるミッドエリアでの動きだけはNANOXYカバー特有の強さを感じ、シャープとフリップ双方を連想させるリアクションで一気にピンをなぎ倒します。そのテクノロジーを支えているのがナノデスの生命線でもある”Magnetite With 衝撃吸収コアシステムIII”であり、計算され尽くした低く、柔らかいピンアクションが十二分に効力を発揮しています。

これまで多くのナノデスシリーズが発売され脚光を浴びたのは、国産ならではの匠な業と、幾度となる作り直しと妥協とは無縁の域から生まれる良品だからこそ、数多くのタイトルに貢献し、シリーズを通して多くのファンに受け入れられたものだと思います。シリーズ1つ1つに魂を込め、情熱を注いだ製品だからこそ多くの方々に使用して頂き、私たちが目指すもの、そのテクノロジーを共有して頂きたいのです。

目指すはすべてのボールの頂へ。Accu-SWINGとともにこれからも我々の挑戦が続きます。

特記事項

今回はポリッシュ状態で粘りのあるキャッチを生み出すNANOXYカバーストックに拘り、そのカバーに生きる新開発コアを搭載。シャープな力強いリアクションは必見です。